



もちのさ

令和8年
(2026年)
7月号
Vol.79

【社会福祉法人愛の森広報紙/一般用】



[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

遊美術(6月11日(水))

書道教室(6月16日(火))

時候の挨拶

総務課長との世間話。お互い書類送付の送り状も含め、手紙を書く機会が少なくない立場...

☺ 気象予報士さんがテレビで「今年はここ数年では珍しく、梅雨らしい梅雨」と仰ってましたので、お手紙の書きだし、そんな感じにしてみました。

☺ おお、いいですね。まさに時宜を得た「時候の挨拶」ですね。それにしても、去年は空梅雨だったように思うし、ここ数年の天気はね...

時候の挨拶、或いはお手紙の書きだし、悩めます。ネットで調べればいくらでも表現は教えてくれますが、通り一遍なのもかえってよそよそしいですし、かといって、細々と状況を書き連ねると冗長なばかりか、手紙が着いたころには全く状況が変化していたりして超違和感💧

利用者さんは季節に敏感です。そして、季節の行事もきちんと覚えておられ、「今年のひなまつりはいつ?」「森のカーニバル(※)は何日?」などとお聞きになります。

※ 例年10月の(第3?)土曜日に開催する、(福)愛の森一番のイベント。

いわゆる衣替え後であっても、一寸涼しければ長袖を着ますし、半袖の時に「寒くない?」と聞くと、ちゃんと体調をお話してくださる方もおられます。もちろん各寮内での職員のバックアップあってのことですが、この自然な感覚、いいなあと思います。あわせて、自慢のTシャツだと、デザインを指さして、誇らしげなポーズをとってくれたりもします。

クーラーをつけすぎて風邪をひいたりする、などと愚かなことをせず、利用者さんのように自然な感覚で季節を受け入れ、味わい、時候の挨拶に表現できれば、と思う今日この頃です。[國分 隆之]

一方で、一年中半袖の「御年55歳、
腕白小僧継続中」の方もおられます(笑)

[感謝!] 20年の長きに渡り有難うございました! GHあずさ寮世話人さん送別会:6月26日(金)

平成18年2月の勤務開始以来、20年の長きにわたってGHあずさ寮にご勤務された世話人さんが、退職の日を迎えました。これまでのご貢献とご苦勞を労い、ささやかではありますが、利用者さんとともに送別会を開催しました。ときには母親のような温かみのある関わり、ときには人生相談のお相手と、お食事づくりやお掃除といった世話人の基本業務を超える部分で、入居者のみなさんに多くの愛情と支援を注いでくださいました。

このたびはご年齢のこともあり退職をご決断されたとのことですが、お住まいがお近くであることも踏まえ、折に触れ、遊びに来ていただけたらと存じます。ご趣味である山歩きを末永く楽しんでいただき、いつまでもお元気で☺。本当に長い間、ありがとうございました。



ありがとうございました

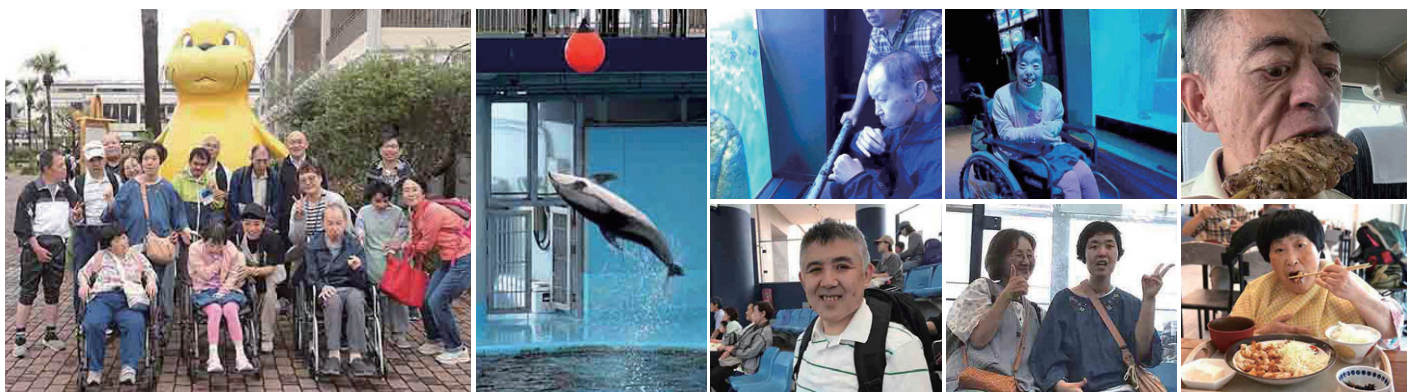
[大迫力!]

海の生き物の迫力を満喫!@八景島シーパラダイス:6月18日(木)

今年の日帰り旅行第2弾(入所グループ第2班)は、利用者さん9名、保護者の方3名、職員5名、の総勢17名で八景島シーパラダイスに行ってまいりました。今回のグループは移動の際に車いすを使用される方3名を含む「ゆっくり・のんびり組」。横浜市内に入るにあたり若干の渋滞もあり、お昼前の到着となったため、まずは、シーパラダイス内の食堂で腹ごしらえ。タルタルチキン南蛮定食を堪能しました。普段、刻み食を召し上がられている利用者さんも、職員がその場で食べやすい状態にとりわけ、無事完食! のんびり組ならではの光景です😊。

昼食後はいよいよ水族館へ。ペンギン、セイウチ、ホッキョクグマなど、普段テレビでしか見ることもない様々な海の生き物の様子をリアルに感じることができ、皆さん一様に興奮気味!

水しぶき💧💧を全身で浴びるべくイルカのショーの最前列でスタンバっていたのに、何も飛んでこなかったと父子で苦笑する利用者さん。帰りのサービスエリアで好物の肉まんに巡り合えなかったものの、ジャンボチキンステーキ串をゲットし、大きなお口で頬張ってご満悦の利用者さん。シーパラダイスで購入したTシャツをことのほか気に入られ、学園に戻っての入浴後、早速に着替えてご満悦な利用者さん、などなど、皆さんそれぞれのペースで楽しい思い出をつくられた一日でした。



[増えた!]

園庭横の榎田川での恒例の森の里ホテル観賞会 去年より蛸も増えて!:6月6日(土)

梅雨入り前後の学園界隈の密かな風物詩、それは蛸鑑賞。園庭の東側を流れる榎田川沿いにこの時期出現するホテルを鑑賞するという、地域のプチイベントに今年もお誘いいただき、参加してまいりました。

集合場所であるマークラインズさんの駐車場では、地元松蔭大の学生さんによるホテルクイズやトリビアの発表、地元でお馴染みのミュージシャンによる演奏、ボランティアさんによるミニゲームやわたあめの提供もあり、普段の静かな森の里の夜とは打って変わり、地元色豊かな賑わいとなりました。

そしてホテル…。ちょっとズルして💧皆さんよりひと足お先に榎田川沿いに行ってみると、想像以上の点滅が🐙🐙🐙(^^♪。ホテルがきらきらと舞っていました。ここも、あそこも、とたくさんのホテルを見て、利用者さんも声を掛けたり手を振ったりと笑顔を見せてくださいます。昨年よりもたくさんのホテルを見ることができ、同行した職員も楽しませていただいた、初夏の夜でした。



「うどんドンドン!」

今年度初の厨房企画は、「選べるうどん」! :6月25日(木)

月に何度かの選択メニューなど、普段から各種の工夫を試みている我が厨房スタッフ。事前に企画内容を利用者さんにお知らせしての「厨房企画」、今年度の1回目は「選べるうどん」。

「かき揚げ」、「肉」、「きつね」...。3種の具が載ったうどんそれぞれをご用意し、まずは利用者さんが2種類を選択! 行儀よく並んだ利用者さんたちは、ご自身の番になると、直感で選ぶ方、じっくり考える方、悩んでしまっで一瞬フリーズされる方、それぞれの個性が現れます(笑)。

選び終わると皆さん自席にてペースよく召し上がられ、普段は「お替り」とは無縁の方も続々と3杯目へ! 最高は「5杯!」の方が1名、と皆さん、うどんいっぱい、腹いっぱい!(お替りを想定し、一杯当たりのうどんは「半分」です)ので何杯食べても大丈夫!)

選ぶことの楽しさと、涼しい食堂で暖かいうどんを食べるそのギャップ、双方を楽しんでいただき、今回の企画も大成功! 新企画への決意を新たに厨房スタッフ一同でした。



「まだまだ還暦!」

学園史上7人目の還暦到達者のお祝い(^^♪:6月26日(金)

入所利用者さんの平均年齢が50歳を超え、徐々に「高齢社会」を迎えつつある我が学園。学園入所の利用者さんとしては7人目の方が還暦を迎え、お祝いの会を開催しました。

この日の主役は、開所間もない昭和63年8月から入所されている「超ベテラン」。これまで特におおきなご病気などもなく元気に過ごされ、本日、大変めでたく満60歳のお誕生日を...

素敵なお誕生日ケーキがお祝いに花を添え、ご本人の好物である「プリン」を利用者の皆さんとともにいただきつつ皆で談笑する、アットホームなお祝いとなりました。

世間では「還暦」といっても、昔のように年寄り扱いをすることは殆どなくなっています。

利用者さんもお同様に、これからも元気一杯でお過ごしいただければと思います。



「ご招待!」

ご招待券をいただいて、TDLに行っていました! :6月15日(月)

昭和58年4月に開園し、43年目を迎えた「夢と魔法の王国」。今に至るも絶大な人気を誇るアミューズメントパークの一つです。学園の利用者さんも当然ディズニーファンが多いものの、遠方ということもあってなかなか実際に足をのばすのは容易ではありません。今回、学園スタッフの知合いから優待券をいただきましたので、利用者さんの体力や「大好き度」などを勘案し、年来のディズニーファン3名とガイドヘルパー役の職員3名とで行ってまいりました。

朝から雨が降るあいにくの天候かと思いきや、「皆さんの日ごろの行い😊」を反映し?、現地に着くなり青空がのぞくほどに天候が回復!お約束のミッキーカチューシャを装着し、利用者さんの思うがままに様々なアトラクションやパレードを夕方まで楽しみました。

この日はなんと「千葉県民の日」でいうことで、週末さながらの賑わいぶりでしたが、皆さん、心行くまで夢の国を堪能できた一日となりました。



[8020を目指して!]

歯科口腔ケアに関する研修を実施しました:5月16日(土)

我が学園にも高齢化の流れが着実にやってきているなか、いわゆる健康寿命延伸の鍵を握る1つが「歯の健康」。そのような思いのもと、昨年一月に続き、都内で開業されている歯学博士の柴田浩喜先生を講師にお迎えして、歯科口腔ケアに関する研修会を行いました。

昼前に来園された先生はまず、利用者さんの食事の様子、そして、職員による利用者さんへの歯磨き支援の様子などをご観察。

そして午後。今回はご家族もお招きしての合同の研修会。歯科口腔ケアの基本から、正しいブラッシング、そして歯磨き支援の方法に至るまで、わかりやすく、また、以下の写真をご覧いただければと思いますが、職員を被験者にしてのビジュアルを重視した実演・実習に、研修ではありながら、非常な盛り上がり!

「食べたら磨く、5分が理想」、「歯周ポケットに菌を貯めない正しいブラッシング」等々、歯科口腔ケア推進に当たってのキーワードは大変わかりやすい一方で、正しいスキルのもとに継続的に実践していくことは簡単ではありません。お口の中の健康状態が、糖尿病、動脈硬化、脳梗塞等の発症にも影響する可能性あり、といったお話も伺い、利用者さん、そして職員自身も着実な歯科口腔ケアの必要性を再認識させていただきました。



法人設立から間もなく40年。利用者さんの高齢化や施設の老朽化等が進むなか、私たちは、障害者総合支援法等に基づき国・自治体から支払われる報酬をベースに、出来る限りの経営努力を行いつつ、利用者さんの安全で楽しい毎日のための諸取組みを積極的に行っていきたいと考えています。

一方、当法人の事業にご賛同いただき、ご支援いただける方からのご厚志はありがたくお受けしています。当法人では皆様からのご厚志(寄附金)は他の事業経理と区分して管理しています。皆さまのご厚志は、利用者さんの生活をより豊かにするためのサービス提供や、中長期的な施設建設積立てなどにのみ充当され、一般的な事業経費には流用されません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【寄附金についてのご照会窓口:(福)愛の森総務課(Tel:046-248-5211(代表)、担当:武藤・國分)】

【寄附金受入管理専門口座:ゆうちょ銀行 / 記号 10950 / 番号 39350301 / 口座名義 7クアイ/リ】

【領収証の送付手続き等もありますので、電話かメール(info@ainomori.or.jp)でのご一報も頂けますと幸いです】

